

整備プログラムを策定しました

Info 国営明石海峡公園整備・管理運営プログラム（略称「整備プログラム」）

国営明石海峡公園では、事業実施過程の透明性確保等を図るため、公園が取り組む整備及び管理運営等を取りまとめた「整備プログラム」を策定しました。本誌の前号でもお知らせした「整備プログラム（案）」について、チラシの配布・設置やホームページ掲載により広く一般から意見募集を行いました。その結果、8通の貴重なご意見が寄せられ、皆様からいただいたご意見を踏まえ策定しました。

また、皆様からいただいたご意見の概要とこれに対する考え方について取りまとめを行いましたので、ご意見の概要の一部を紹介いたします。

【資源循環】

間伐材のほか、刈草・わら・籾殻について堆肥化等、循環型の実現をお願いしたい。

【貴重種の保全】

国営明石海峡公園神戸地区内に自生している貴重種の保全を図るとともに、山野草・草花で来園者を呼ぶにふさわしい、並木、群生を保全・増殖し整備したい。

【市民団体の参画】

「人と人の交流」で来園者が楽しんでいただくよう、来園者に対する公園内の見所の案内役で活動したいと考えている。市民団体を活用いただくようお願いしたい。

【プログラムの提供について（七十二候）】

「人と動物の共生空間」の視点で、昆虫や鳥、水棲動物、小動物などと触れ合う環境整備（ビオトープなど）を行い、学校と連携して環境学習に役立てることも加えてほしい。

【茅葺き古民家の活用】

本公園の開園に向けて、茅葺き古民家は単なる展示物ではなく、開放的で癒しの空間や触れ合いの場となるようにしてほしい。

以上、これらの「整備プログラム」及び「意見募集の実施結果について」は、国営明石海峡公園のホームページからご覧いただけます。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/akashi/>



パブリックコメント（意見募集）の実施状況について

● 回答者の住所			● 回答者の年代			● 回答者の男女構成			● 回収方法および回収数	
住 所	回答数	割合(%)	世 代	回答数	割合(%)	性 別	回答数	割合(%)	回収方法	回収数
神戸市北区	4	50.0	40代	2	25.0	男 性	7	87.5	メール	6
芦屋市	1	12.5	50代	2	25.0	女 性	1	12.5	FAX	2
大阪府	1	12.5	60代	2	25.0	計	8	100.0	計	8
東京都	1	12.5	70代	1	12.5					
無回答	1	12.5	無回答	1	12.5					
計	8	100.0	計	8	100.0					

あいな里山ま知識！?

野草編
vol.26

スイセン ヒガンバナ科スイセン属
Narcissus tazetta var. chinensis

- 耐寒性多年草（球根植物）
- 分布：全国各地で観賞用として栽培

スイセンは真冬に咲く清楚な花と上品な香りで古くから栽培されてきました。原産地は地中海沿岸地域で、日本には古く中国を経由して渡来したと言われてます。多くの品種がありますが、神戸地区では「ニホンズイセン」が田畑の畦などに植栽されています。今年の神戸地区は積雪があり、別名の通り「雪中花」の姿を見ることができました。

有毒植物で、リコリンやシュウ酸カルシウムなどの有毒成分を含んでおり、葉の形が似ているニラやノビルと間違えて食中毒を起こした例もあるようです。



あいな里山公園情報

製作・発行

国営明石海峡公園事務所

〒650-0024

神戸市中央区海岸通29番地

TEL(078)392-2992

FAX(078)392-2995

電子メール info-akashi@kkr.mlit.go.jp

ホームページ

<http://www.kobe.kkr.mlit.go.jp/>

↑こちらからダウンロードできます

あいな里山公園は、現在開園していません。許可を受けた市民団体の活動やイベント以外での一般の公園内の立ち入りはできませんのでご注意ください。



国営明石海峡公園
国土交通省 Akashi Kaikyo National Government Park
この情報誌は環境に配慮したFSC認証紙を使用しています。

どんど焼きを開催しました

Events 平成26年2月2日(日)

2月2日(日)、耕作楽園地区において「どんど焼き」を行いました。公園の管理活動で発生した刈草や伐採枝、竹などの資源の循環を図りながら、公園の冬の行事としての可能性を探るため、昨年度初めて試行しました。

2年目となる今年は、一般来園者の方にも見ていただこうと、市民団体さんによる餅つきイベントが同時開催されました。総勢80名が集まり、燃えさかる炎と竹がパンパンはぜる爆音に歓声を上げながら、一年間の無病息災と五穀豊穡を祈りました。やぐらが焼け落ちた後、さらに伐採枝や竹を投入して燃やし、できた灰や炭は今後の耕作活動などに生かしていく予定です。

公園の冬の風物詩となる行事として、開園後も開催していきたいと考えています。

主催：国営明石海峡公園事務所 協力：神戸地区市民参画団体



刈草、伐採枝、竹を積み上げた「どんどやぐら」



やぐらが焼け落ちた後、伐採枝や竹を投入



お正月飾りや古いお守りなどを納めます



炎がおさまった後もくすぶり続け...



トーチからいざ点火



点火より4時間後、消防用ホースにて完全消火

日本野鳥の会ひょうご

活動の概要紹介

ご存じ「日本野鳥の会」です。野鳥を通じた自然保護、そして自然に親しむ活動を県下でおこなっています。メインは探鳥会(野鳥を対象とした自然観察会)。月平均5~6回県下の様々なフィールドで開催しています。

神戸地区はさまざまな野鳥に出会える魅力的なフィールド。この冬はオジロビタキというとても珍しい、でもかわいい種も現れました。

今のところ春と冬の年2回、探鳥会を開催していますが、開園に向けて増やしていきたいと考えています。

主な活動内容

- ・園内の野鳥の観察。
- ・園内の野鳥の生息調査、研究

代表者:丸谷 聡子
会員数:1150名
神戸地区での活動開始時期:平成21年
連絡担当者:北野 光良
連絡先 TEL:090-6236-6646
E-mail:mitsuyoshi.kitano@nifty.com



神戸地区で確認したオジロビタキ



探鳥会のようす



里山には野鳥の住むさまざまな環境があります



ルリビタキ

兵庫きのこ研究会

活動の概要紹介

兵庫きのこ研究会は、キノコを通して自然に関する適切な認識を持つことを目的としています。そして、キノコについて学びたい人を支援し、キノコに関する一定の知見を持った人材を育てる活動を行っています。

食材としての茸を別にすれば、キノコは私たちの日常生活とあまり関係のない存在と思われがちですが、里山をはじめ、森の存在には欠かせない生き物です。キノコを含む菌類という生き物が動植物を含む自然の循環を成立させる大きな役割を担っているのです。

こうした多様な生物が互いに生きるための関係を、人と自然が寄り添い生きる里と里山の営みに重ねて、訪れて意味のある公園づく

りに寄与できればと思います。

当公園予定地では、キノコという生き物をメインキャラクターにして、様々な生物間の関わりを紹介し、人と自然の共生する里山の素晴らしさを理解いただけるような活動を目指しています。

主な活動内容

- ・観察会の実施
- ・公園予定地のキノコ・菌類の調査
- ・キノコのホダ木栽培の試行
- ・観察場になるキノコの発生環境を維持するための里山管理

代表者:岩崎 敦弘
会員数:約50名
神戸地区での活動開始時期:平成14年
連絡担当者:中嶋 知之
連絡先 E-mail:freefungi@ybb.ne.jp
ホームページ:http://www.hyogo-kinoko.jp/



キノコ観察会のようす



採集したキノコの同定と観察



除伐材を利用したキノコのホダ木栽培



畑でのジャガイモ掘り体験



田んぼでの稲作体験



ノルディックウォークイベントで里山を散策

兵庫NIEネット

活動の概要紹介

私たちは平成20年より本格的に「あいな里山公園」に参画し、公園の景観づくり活動に挑戦的に取組んで来ました。藍那ソバの栽培、蕎麦打ち体験、徹底した無農薬による野菜・米の耕作、栽培と行ってきました。樹林管理にも協力し、樹林の伐採の副産物である楢木に椎茸菌を打ち、原木椎茸の栽培にも挑戦しています。藍那の四季折々の自然のめぐみを探し、公園を散策するのも大きな楽しみの一つです。土筆、ワラビ、筍、栗、ヤマモモ、柿などがあります。

しかし、自然の力には人の無力さを多々感じさせられます。雑草の繁茂の勢い、イノシシ被害は目を覆いたくなります。米、サツマイモ、サトイモ栽培では収穫の一

歩手前で壊滅的にアタックされたことは悔しい一言です。

こういう被害にも負けず、景観にも配慮、計画的なお米、野菜栽培に取組み、家族ぐるみで開催イベントへ参加いただき好評をいただいています。自然万歳!!!

主な活動内容

- ・農地環境整備(水田管理、畑地管理、除草)
- ・ノルディックウォーキングを通じた健康促進イベント開催

代表者:浅井 徹
会員数:57名
神戸地区での活動開始時期:平成20年
連絡担当者:青木 勉
連絡先 TEL:078-821-9764
E-mail:taoki@crocus.ocn.ne.jp



四ツ辻西側の竹林整備



種子から育てた自生スミレの育苗管理



農村舞台でのアンクルン演奏

NPO 法人 Present Garden to

活動の概要紹介

2001年、当時のコンサルタントからのお誘いで「あいな里山まつり」に参加したことから全ては始まりました。園芸療法小規模作業所の知的障害者7名が里山を体験し、学びつつ「知的障害者による里山管理事業」として選ばれました。それ以来四ツ辻西側の整備をコツコツと重ねて10年の間美しい里山を維持してきました。他にもあいなスミレの増殖も雑草と戦いながら続けています。山のちょっとした坂を登ることも困難だったメンバーが今では竹を伐採し竹を抱えて駆け抜けている姿を見て10年という月日を感じています。また、「竹を切り竹を演奏する」というスローガンで、インドネシアの竹製楽器アンクルンの

演奏を行い好評を得てきました。年に一度、里山公園の隣に位置するあいの竹で作った花鉢を用いた園芸ワークショップや竹細工体験も行っています。

主な活動内容

- ・四ツ辻西側の竹林、里山整備
- ・あいな自生のスミレの増殖(以上月1回第3金曜に活動)
- ・イベント、里山まつりに参加
- ・アンクルン演奏とワークショップ

代表者:理事長 高野 喜恵
会員数:33名
神戸地区での活動開始時期:平成14年
連絡担当者:事務長 高野 捧
連絡先 TEL:078-785-1516
E-mail:present-g@hi-net.zaq.ne.jp